

(参考) 普通会計決算の推移 (経常収支比率の推移)

○経常一般財源等 (臨時財政対策債含む)

(単位: 千円、%)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較	
	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	増減額	増減率
地方税	10,911,660	11,100,882	11,006,083	11,206,530	11,567,980	361,450	3.2
地方譲与税	210,868	212,598	216,834	216,740	225,209	8,469	3.9
利子割交付金	9,994	10,863	9,153	8,708	7,054	△ 1,654	△ 19.0
配当割交付金	69,673	65,046	94,692	87,882	100,118	12,236	13.9
株式等譲渡所得割交付金	45,916	79,189	119,574	70,122	120,045	49,923	71.2
地方消費税交付金	1,442,500	1,785,140	1,970,416	2,117,223	2,101,329	△ 15,894	△ 0.8
ゴルフ場利用税交付金	11,195	18,049	21,112	20,237	18,000	△ 2,237	△ 11.1
自動車取得税交付金	43,706	6	-	727	2,609	1,882	258.9
自動車税環境性能割交付金	12,771	26,030	27,536	32,810	37,133	4,323	13.2
法人事業税交付金	-	38,629	88,012	115,991	131,342	15,351	13.2
地方特例交付金等	254,376	141,361	187,186	162,780	150,653	△ 12,127	△ 7.4
普通交付税	2,341,327	2,360,059	3,386,575	3,955,318	4,233,050	277,732	7.0
交通安全対策特別交付金	10,302	11,119	10,665	9,621	8,661	△ 960	△ 10.0
使用料・手数料	105,087	107,566	105,771	104,505	104,383	△ 122	△ 0.1
財産収入	-	-	3,817	2,379	2,359	△ 20	△ 0.8
諸収入	7,647	7,003	3,029	6,759	2,678	△ 4,081	△ 60.4
臨時財政対策債	1,098,700	1,003,500	1,674,700	479,100	206,300	△ 272,800	△ 56.9
合 計	16,575,722	16,967,040	18,925,155	18,597,432	19,018,903	421,471	2.3

○経常経費充当一般財源等

(単位: 千円、%)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較	
	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	増減額	増減率
人件費	4,449,915	4,554,256	4,563,333	4,713,493	4,747,921	34,428	0.7
物件費	3,330,242	3,376,118	3,455,554	3,631,176	3,685,484	54,308	1.5
維持補修費	445,086	361,618	320,929	284,702	307,658	22,956	8.1
扶助費	2,412,106	2,410,093	2,315,839	2,634,123	2,887,827	253,704	9.6
補助費等	954,393	865,175	839,858	832,515	902,058	69,543	8.4
公債費	2,228,238	2,094,454	2,126,104	2,189,622	2,347,918	158,296	7.2
投資及び出資金・貸付金	55,335	46,408	-	-	-	-	-
繰出金	1,953,815	2,080,972	2,180,455	2,242,382	2,341,021	98,639	4.4
合 計	15,829,130	15,789,094	15,802,072	16,528,013	17,219,887	691,874	4.2

○経常収支比率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収支比率	95.5%	93.1%	83.5%	88.9%	90.5%
県平均	93.1%	91.2%	86.6%	90.5%	-
県内順位	39位	35位	14位	21位	-

経常収支比率 = (経常経費充当一般財源等)

÷ (経常一般財源等 + 減収補てん債特例分 + 臨時財政対策債) × 100

義務的経費 (人件費・扶助費・公債費の計) などの経常的な経費に対して、地方税・地方交付税等の経常的な一般財源収入がどの程度充当されているかを表す指標です。この比率が低いほど経常一般財源の残余が大きく、臨時の財政需要に対して余裕を持つことになり、財政構造が弾力的であると考えられ、比率が高いほど、財政構造の弾力性が失われつつあると考えられています。

